

第4章 持続可能なまちづくりに向けた課題の整理

4.1 課題の抽出

平川市の現状分析及び将来見通しを踏まえ、本市のまちづくりに関わる課題を整理します。

4.1.1 人口にかかわる課題

■人口減少、少子高齢化を見据えたまちづくり

- ・人口が一貫して減少傾向にある本市においては、市街地を維持するための適正な人口密度を確保していく必要があります。
- ・少子高齢化、生産年齢人口の減少を見据え、高齢者や子育て世代の暮らしを支援するまちづくりを進めていく必要があります。
- ・また、さらなる少子高齢化を見据えた都市機能の適正誘導を図っていく必要があります。
- ・市域の98.8%が市街化区域外となっている本市においては、市街地周辺の集落地の生活環境を維持・向上するとともに、地域コミュニティを維持していく必要があります。

4.1.2 まちづくり・土地利用にかかわる課題

■魅力のある住宅地づくり

- ・安全で安心して暮らし続けられる住宅地を確保していく必要があります。

■都市機能・生活利便施設が集積する中心地づくり

- ・既成市街地の中心地としての役割を維持するため、都市機能・サービスの低下を抑制していく必要があります。
- ・居住や生活利便性に寄与する施設の立地を適正に誘導し、中心地のにぎわい・活力を創出していく必要があります。

■地域拠点の生活環境の維持・向上

- ・住み慣れた地域で暮らし続けられるように集落地の生活環境を維持していく必要があります。

4.1.3 公共交通にかかわる課題

■公共交通網の維持、ネットワークの再構築

- ・利用者ニーズの変化に対応した公共交通手段を確保していく必要があります。
- ・中心地と周辺集落地を効率的にネットワークする公共交通網を形成・維持する必要があります。

4.1.4 防災にかかわる課題

■災害リスクの低減に向けた市街地づくり

- ・災害リスクの想定される区域においては、居住のあり方を検討していく必要があります。
- ・自然災害からの被害を最小限に抑えられるように、ハード・ソフトの両面から災害リスクの低減に向けて取り組んでいく必要があります。

■防災対策、避難誘導対策を踏まえた居住や都市機能誘導の検討

- ・安全性の高い市街地への居住と都市機能の誘導を検討していく必要があります。

4.1.5 財政にかかわる課題

■公共サービスの維持と経費縮減

- ・生活に必要な市民サービスを安定的に提供し続けられるように、都市の運営に係るコストが小さい市街地にしていく必要があります。
- ・公共施設等の維持・管理及び更新のあり方や、民間活力による行財政の軽減を検討していく必要があります。

4.2 解決すべき課題の整理

分野別に整理した課題から、持続可能なまちづくりに向けて解決すべき課題を整理すると、以下のとおりとなります。

【課題①】 市街地の人口密度の維持と 少子高齢化への対応	<ul style="list-style-type: none">・市街地の人口密度の低下の抑制・市街地の適正な土地利用の誘導・さらなる少子高齢化の進行へ対応する、集落地の暮らしやすさの向上
【課題②】 中心地の都市機能の充実	<ul style="list-style-type: none">・本市の中心地に立地する都市機能の維持と集約化・居住や生活利便性に寄与する都市機能の中心地への立地誘導
【課題③】 公共交通サービスの維持	<ul style="list-style-type: none">・利用者ニーズの変化に対応した公共交通サービスの確保、利用促進・中心地と周辺集落地を機能的に結ぶネットワークの確保
【課題④】 市街地における災害リスク の低減	<ul style="list-style-type: none">・市街地における災害リスクの低減・安全性の高い市街地への居住と都市機能の誘導